

# ほちほちにか

2020年7月15日  
桜井谷小学校  
6年図工通信 第4号  
発行者：古田 みちる

## プロフェッショナル ～切り絵の流儀～

「ゼンタングル WORLD」に続いて手掛ける作品は「切り絵」。家庭での折り紙の用意にご協力くださった保護者の皆様、ありがとうございました。今回の切り絵は、はさみを使わずカッターナイフのみで切り抜く少し高度な切り絵。いくつかある折り方から好きな折り方を選び、自分で柄を考え下描きの線を描き、その上をなぞるようにカッターナイフで切り落としていきます。

今回のめあては、素敵な作品をつくること以上に、まずはけがをせずに作品作りを終えること。使い方を誤れば凶器になる道具を使うわけですから安全第一です。改めて、カッターナイフの持ち方、動かし方、ルールを確認していざスタート！12折りと16折りのどちらかを選んで折るのですが……まず、説明通りに折り紙を折ることに苦戦する人続出！立体を平面で説明している説明書を形で捉えて折るのは確かに難しい！子どもたちに馴染みのある「動画」ではなく、紙面での説明だったのも子どもたちが苦戦した一因かもしれません。折り方は合っている、紙の折り目の部分「わ」を基準にして柄を入れていないことが原因で切った後に開くとバラバラになってしまう子がちらほら居ました。そして、折り方をクリアした次の難関はカッターナイフの細かい動き。重ねた紙がずれないように、そして全ての重なりを1回で切り込むことがとても難しいのです。



「ゼンタングルより疲れるわ～」

「もう心折れそう…」

そんなつぶやきがあちこちから聞こえてきましたが、美しく仕上がった友だちの作品を見て「綺麗！」

「細かい！」「すごい！」と言いな

がら自分の作品作りに生かしている子もいました。

ひつつくはずの場所がちぎれていても、少々思っていた形と違うものができて、最後まであきらめずに仕上げる気持ちが大切。黒の画用紙に貼りつけると、個性豊かな模様がよりはっきりと浮かび上がり美しいです。今後もカッターナイフを使う活動を予定しています。普段、頻繁に使う道具では無いからこそ、正しく楽しく使えたと作品作りの幅も

広がります。個性豊かな模様は同じに見えて細かい部分が違ったり、くりぬき方にこだわりがあったりと様々でした。何種類か作れた子は大切に持ち帰っている子もいます。



ぜひ、家庭でもご覧ください。子どもたちが、苦労話を聴かせてくれるかもしれません。

次回の図工からは「グラデーション」を楽しむ時間の始まりです。普段は身近にないような色とも触れ合い作品作りをしていきます。とは言え、色の見え方は人それぞれ。1つの色でも、青に

見えたり緑に見えたり、捉え方が違うこともあります。「これは〇〇色」という縛られたものではなく、気楽に「色」の世界を楽しんでほしいと思っています。

